

〇〇〇議会〇〇〇〇議長様

令和 〇年 〇月 〇日

請 願 者

住 所

電 話

紹介議員

下水道などのインフラ設備への国の公的支援を求める請願

2025年1月に埼玉県八潮市で起きた陥没事故は、下水道管が腐食し破損したことからとされています。生活を支える社会基盤であるインフラの維持管理を適切に行うことが不可欠です。

下水道管は全国的に老朽化が問題となり、政府の調査でも更新期の50年を経過した管渠の総延長の約7%、10年後は約19%となり今後は急速に増加するとされています。

2015年には下水道施設の5年に一回の点検が自治体に義務化されました。しかし、人手不足と施設の老朽化・腐食化が一斉に進み改善にはいたっていません。道路陥没件数は地震を除いても令和4年で2600件を超えています。このことは、下水道施設に限らず、上水・道路・河川・砂防などインフラ全体の維持管理は全国共通の問題です。

しかし、地方自治体の財源は限られており、また民間委託や自治体連携、また使用料などの市民負担を求めることにも限界があり、必要となる点検・維持修繕・更新の実施に支障が生じています。つきましては、国による公的対応を強めていただくために、地方自治法第99条の規定により意見書の提出を請願します。

記

請願事項

- 1 インフラの点検・緊急対策・更新などの管理を行うために、自治体および地方公営企業へ、国により財政的・技術的支援を強めていただきたい。
- 2 防災・安全交付金や社会資本整備総合交付金も行われていますが、物価高騰の実態などに合わせての充実した支援を要請します。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、防災担当大臣